
二級河川芦田川に関する河川整備計画（原案） 及び建設事業再々評価に対する住民意見

住民説明会における意見と回答

区分	意見	回答
説明会	二層河川区間に沿って上町断層が走っているため、ボーリング調査や耐震対策が必要ではないか。	二層河川区間の地下構造物(ボックスカルバート)は、地震時に周囲の地盤と一体的に揺れるものとして設計しています。断層により地下構造物が損傷する可能性があります。損傷した場合は修繕します。 なお、ボーリング調査は地下構造物の設計に先立ち実施しています。
	時間雨量50ミリ、65ミリはどのような雨のことを指すのか。	計画降雨量や雨の降り方を表す波形は、過去に降った雨のデータの確率統計処理により100年に1度の計画降雨波形として決めています。 波形の中で、最も多く雨が降ったピーク雨量・波形を引縮め、50ミリ程度(10年に1度)、65ミリ程度(30年に1度)としております。
	近隣県では計画以上(想定外)の雨がよく降っているが、計画降雨を見直す必要はないのか。	計画降雨量は、過去の降雨データを基に確率統計処理し、1/10年や1/100年などの確率(頻度)で降る雨量を算出しています。 今後、芦田川の河川整備計画を見直す際に、最新の降雨データで現在の計画を精査します。
	地震発生時、高石市の湾岸部に到達する津波高は5m程度を想定されているが、対策はどうなっているのか	芦田川防潮水門は、津波・高潮対策として整備が完了しており、津波の発生時には、水門を閉鎖することとなっています。 ただし、東日本大地震で想定を超える津波が発生したことを踏まえると、大阪湾で想定を2倍を超える津波が発生した場合、水門や防潮堤では防ぎきれないことが考えられるため、逃げるということを意識してください。
	二層河川区間より下流部の河川は細いところが多いため、対策が必要ではないか。	二層河川区間の下流については、都市計画道路新村北線の地下に二連のボックスカルバート(ショートカット区間)を設置しており、計画上、洪水時には、上流からの洪水はご指摘の区間には流れず、全てボックスカルバートに流れ込む計画としています。
	親水部分の河川の安全管理はどのように考えているのか。	これまでもふるさとの川整備事業により高石市と住民が連携してきているため、高石市管理の上面整備部に関しては、高石市と住民と連携した管理ができればと考えています。ただし、河川管理上必要な対策は河川整備の際に大阪府で実施します。

住民説明会における意見と回答

区分	意見	回答
説明会	<p>事業進捗状況は、総費用67.7億円に対する進捗なのか。</p> <p>費用は、高石市が拠出しているのか。</p>	<p>事業進捗率は計画における総事業費77億円に対して算出したものです。</p> <p>費用便益分析における総費用は、評価期間を事業完了後50年として、今後支出する事業費を現在価値化した費用に、支出済み額を加えた費用であるため、計画上の総事業費とは若干異なる値となっております。</p> <p>費用は大阪府が拠出している額です。</p>
	<p>事業の完成時期はいつまでなのか。</p>	<p>平成30年度の完成を目指していきます。</p>
	<p>現時点で、床下・床上浸水が想定されているのであれば、実際に発生した場合、高石市で補償してくれるのか。</p>	<p>ご意見については、高石市へ伝えておきます。</p>
	<p>高石市には芦田川と王子川があるため、はん濫解析の結果は、王子川の解析結果も含めて示して欲しい。</p>	<p>王子川のはん濫解析は平成24年度に予定しており、結果が出た段階で説明します。</p>
	<p>現在着手されている工事は、平成24年度に完成すると聞いているが、実際はいつまでにできるのか。</p> <p>芦田川ふるさと広場付近の中央公民館付近まで二層河川区間の整備が進むと浸水は助かるが、いつまでかかるのか。</p> <p>国道26号までを平成30年までに完成させると聞いたが、本当に完成できるのか。</p>	<p>今後の予算の関係もあるが、中央公民館までは、平成27年の出水期までに完成させたいと考えている。国道26号までは平成30年度の完成を目指していきます。</p> <p>芦田川は、府内の河川事業の中でも最も予算を割り当てており、重点河川としています。</p>
	<p>芦田川ふるさと広場付近の中央公民館から国道26号までを単なる排水路のような構造にしたい。住民参加できるような取組みができるのか。</p>	<p>多自然川づくりなど今後検討する予定であるため、設計段階においても住民の意見を聞きながら進めていきたいと考えています。</p>

住民説明会における意見と回答

区分	意見	回答
説明会	<p>時間雨量50ミリでも浸水するリスクがあることに驚いている。現在、自宅付近の河川改修工事を行われているが、国道26号まで改修が終わるまでは浸水のリスクを持っておかないといけないのか。</p>	<p>河川整備は着実に進んでいますが、整備途中では計画規模の降雨でも洪水リスクがあることや、整備後でも想定外の降雨による洪水リスクがあることをご理解いただきたい。</p> <p>そのため、大阪府では洪水リスクを開示することにより、地先の洪水はん濫や浸水の危険性を理解していただき、地域の状況に応じた住民自らの避難対策や避難行動により、洪水被害の低減につなげていきたいと考えています。</p>
	<p>情報伝達方法で、携帯電話を持っていない人もいるため、以前、高石市内で使用していた防災スピーカーを活用して欲しい。</p>	<p>現在、高石市において、避難時の勧告・指示などの基準を記した「避難勧告等の判断・伝達マニュアル」を作成しているため、防災スピーカーの活用についての意見を、高石市に伝えておきます。</p>
	<p>時間雨量80ミリの雨が満潮時に降った場合、水位はどうなるのか。</p>	<p>洪水時の水位を計算する際は、満潮時の水位を基準に計算しています。</p>
	<p>高潮の場合、芦田川防潮水門は大阪府が操作するのか。</p>	<p>芦田川防潮水門の操作は大阪府から高石市に委託し、高石市職員が行っています。</p>
	<p>上流にあるため池において、大雨の前に水を放流してもらい、ため池の貯留量を減らしてもらえば、下流が助かると思う。</p>	<p>ため池の治水機能の活用にあたっては、ため池管理者や地元水利関係者のご理解・ご協力が必要と考えております。今後、ため池の治水機能の活用については、大阪府の農林部局や土地改良区などと連携して検討を行っていきます。</p>
	<p>流域界はどのように決めているのか。</p>	<p>実際に現地踏査して水路網や下水道の集水区などから流域界を確認しています。</p>

ファックスによる住民意見と回答

区分	意見	回答
FAX①	<p>住所または所在地 高石市東羽衣 [REDACTED] 氏名または団体名 [REDACTED] 電話番号 [REDACTED]</p> <p>河川整備計画には、全体的な工事工程表等の説明があつて当然であるが、添付されていない。我々住民としては、特に気になる所である。</p> <hr/> <p>中央公民館前から国道26号までの間、何分割かし、業者(数社)に発注し、工事は同時進行できないものか。そうすれば、工事期間は少なくてすむ。</p> <hr/> <p>最後に、万成橋付近の工事着工、施工には、工事場所の狭さ、交通量もかなりあり、工事管理、特に安全管理面に留意願いたい。</p>	<p>河川整備計画は、今後20～30年の具体的整備内容を定めるものであり、個別工事の工程等を定めるものではないため、具体的な工事工程については、別途工事に関する地元説明会などの際にご確認ください。</p> <hr/> <p>早期事業完了に向けて努めていきます。</p> <hr/> <p>工事において十分に留意していきます。</p>
FAX②	<p>住所または所在地 高石市千代田 [REDACTED] 氏名または団体名 [REDACTED] 電話番号 [REDACTED]</p> <p>雨量80ミリ、90ミリの対策は想定外のような取組に思われます。最近是全国各地の雨量はそれ以上のように報道されている。見直すような考えはないんですか。</p>	<p>計画降雨量は、過去の降雨データを基に確率統計処理し、1/10年や1/100年などの確率(頻度)で降る雨量を算出しています。</p> <p>今後、芦田川の河川整備計画を見直す際に、最新の降雨データで現在の計画を精査します。</p>

ファックスによる住民意見と回答

区分	意見	回答
FAX②	<p>予算の問題が一番でしょうが、芦田川が浸水した状態を考えると、人命には影響ないですが、市が民家に補償すべき問題があります。</p> <p>現時点で住宅への浸水(床下・床上)した場合、市からの援助は規程ではどうなっているのか。</p> <p>床下浸水でも調査して市民に迷惑のかからないような予算が当面必要と考えられる。</p> <p>これも会議のとき申しました事ですが、氾濫の状況とか地震の後とか、市内の町に設置されている「スピーカー」は市内のどこでも聞けるように配備されていますか。携帯とかデータ放送ももちろんですが、実際の災害のときは慌てるので、市内のスピーカーを活用してください。</p>	<p>ご意見については、高石市へ伝えておきます。</p>
FAX③	<p>住所または所在地 高石市西取石 [REDACTED] 氏名または団体名 [REDACTED] 電話番号 [REDACTED]</p> <p>○9月9日の説明会に参加して、勉強させて頂き有がとう ○私は取石3丁目で、稲作をしています。H16年5月13日には取石農協付近の田圃は池のようになり、付近は床下浸水しました。原因の一つとして、下流の屈曲部に物が詰ったようです。 ○進行中の南海電鉄の立体化が完成すると、「芦田川ふるさと広場」南側の道が旧26号線迄延長されます。 この道路の下に水路を新設して、芦田川に結ぶと「曲がり箇所」が減り、洪水の解消につながると思います。</p> <p>所有していた「光明池土地改良区地区一般図」を送付します。参考になれば。</p>	<p>ご指摘の浸水箇所の浸水原因は不明ですが、下流部の未整備区間における流下能力が低いことが要因の一つになっていると考えられます。</p> <p>当面の整備目標の早期達成により、少なくとも100年に1度発生する恐れがある時間雨量80ミリの降雨に対して床上浸水を解消を図ります。</p>